

私の好きな場所

日本ダイエツトアカデミー
協会代表取締役会長
福崎 昭一
Fukuzaki Shoichi



当社の事務所がエンパイヤ・ステートビル内にあることもあって、ニューヨークはかなり気に入っています。

まずは成田から飛行機に乗って、ニューアークリバティー国際空港に到着する直前、眼下に高層ビルが林立する様子を眺めるとニューヨークへ来たなど感じる事ができます。日本とニューヨークの時差は十二時間ありますが、ハワイと違って、フライト中も八時間はぐっすり眠ることができ、到着後もさほど時差を感じずに行動することが出来るのも魅力です。

わたしは景色を眺めるのが好きで、五十九階の事務所から見

る町並みは絶景です。また、ロックフェラーセンターの六十五階にあるレストランで食事をするのが気に入っていて、真向かいにエンパイヤ・ステートビルを眺めながら食事をするというのもニューヨークでの恒例行事になっています。

不思議なもので、日本にいるときには外を歩きたいとは思いませんが、ニューヨークへ着くと歩きたくなくなります。普段泊まっているホテルから五番街を北上し、セントラルパークに行ってみると、散歩をしたり、ジョギングを楽しむ人がいたり、そこは「This is America」という言葉がびったりです。

町を歩くといえ、わたしは仕事柄、自然と肥満ウオッチングをしてしまいます。アメリカ人は六四％が肥満だと言われるほど肥満が多い。町を歩いているとそのことを実感します。やはり、食事は毎回、満腹にしなないと気が済まない国民性だからでしょう。生きるために食べるのが本来の目的のはずなのに、

彼らは食べるために生きていますように見えます。

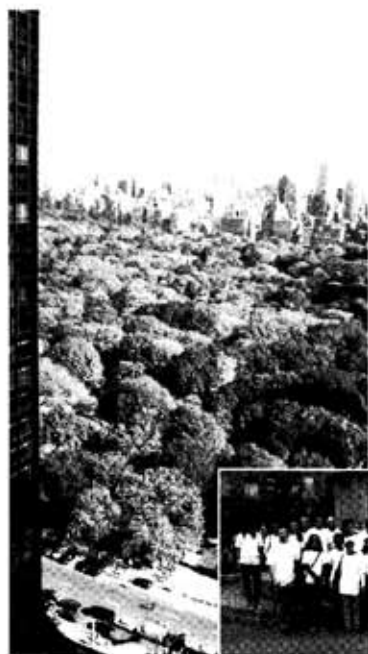
日本でもアメリカでもそうですが、本来、人が痩せるのは病気で内臓疾患などがある場合か、身体が飢餓状態にあるときしかありません。ダイエットとはそれを人為的に作り出して肥満を解消しようというものです。しかし、多くの人が知識のないまま間違ったダイエットを始めているのが現状です。

間違ったダイエットを続けて

いると、最悪の場合、死に至ることもあります。どんなダイエットをするにしても、正しい知識を持ってから健康的にダイエットを行ってほしいと思い、設立したのが当社です。

今年の五月にはニューヨークで現地会員五十名を集め、ダイエットマスターのパレードを行ってきました。今後も肥満に対する正しい知識と理論を、広く世に訴えかけていきたいと思っています。

ニューヨーク



10月下旬、紅葉の始まったセントラルパーク(左)と5月に行われたパレードの様子

